

研究課題名	人工知能(Artificial Intelligence; AI)を用いた血液透析患者の透析後K濃度の予測
研究の意義・目的	本研究は大阪公立大学が中心となって行う研究です。透析後のカリウム濃度は低すぎると不整脈が起きやすくなり突然死を含む死亡率が上昇する事が知られています。そこで、人工知能(Artificial Intelligence; AI)を用いて臨床パラメーターと透析前のカリウム濃度より、透析後のカリウム濃度を予測する事を試みます。
研究を行う期間	公開データベース（Japan Registry of Clinical Trials:jRCT）における公表日～ 2026年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	jRCT 公表時まで大阪公立大学医学部附属病院人工腎部で血液透析を受けた患者さん。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【年齢、性別、身長、体重(DW)、原疾患、既往歴、喫煙歴、食事内容、内服内容、透析歴、合併症、入院時病名、透析の曜日、採血、透析条件、バスキュラーアクセス条件】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科でデータの取得を行い、北里大学医療衛生学部へ情報を提供しAI開発を行います。
この研究を行っている共同研究機関	北里大学医療衛生学部 研究責任者 小久保 謙一 大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 研究責任者 長沼俊秀
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 研究責任者 長沼俊秀
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 (担当者氏名) 長沼 俊秀 電話番号：(06) 6645-2366